

第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)
競技会場仮設オーバーレイ整備準備支援基本調査業務特記仕様書

1 業務名称

第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)競技会場仮設オーバーレイ整備準備支援基本調査業務

2 業務の目的

第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)(以下「大会」という。)は、大会での実施が決定しているパリオリンピック32競技のうち、2021年3月までに、調整の整った43競技会場の仮決定を行ったところであり、最終的には40競技55競技会場程度を想定している。

競技会場は、大会コンセプトとして既存施設の活用を中心とし、必要に応じて一部の競技では仮設の会場を整備することとしている。

既存の競技会場、新設の競技会場及び仮設の競技会場は、大会の開催に必要な仮設の施設整備やインフラ、設備及び機器等の整備(以下、「オーバーレイ整備」という。)を行い、大会運営水準にしていく必要がある。

本業務は発注者の視点で支援することを目的に、各競技会場仮設オーバーレイ整備についての工程の策定、仮設物に係る入札契約方式の検討及び基本設計に必要な要件の整理等を行うこととする。

3 業務対象地

別紙1、2の競技会場による。別紙に掲げる以外の競技会場については、契約締結後、発注者が提供するものとする。

4 業務内容

受注者は、本業務を実施するにあたり技術的な中立性を保ちつつ、常に発注者の側に立ち、発注者の利益を守ることを最大の任務として本業務を

実施するとともに、発注者との高い信頼関係及び倫理性の保持を徹底すること。

(1) 競技会場整備に関する最適な仕組みづくりの策定

項目	内容
① 競技会場の共通要件の取りまとめ	<p>会場ブロックプランチェックシート（各競技会場共通で必要となる機能において、要件の共通化を行ったもの）を元に共通ガイドラインの作成を行う。</p> <p>実施設計発注時に添付する基本設計説明書の構成項目の検討及び整理を行う。</p>
② 発注方式の特性の整理と評価方法の検討	<p>想定している各競技会場について、設計や施工等における発注方式（入札契約方式、クラスター、工事区分、参加資格要件等）を検討し、メリット・デメリットを整理したうえで最適な発注方式を提案する。</p> <p>また、選定時に必要となる評価方法、評価基準を検討する。</p>
③ 各競技会場整備に係るコスト管理の検討	<p>発注者から提供する各競技会場の概算仮設整備費用について、金額の妥当性を検討し、削減案を提出する。</p> <p>また、他FAとの業務区分に対し、業務内容やコスト効率等の観点から助言を行う。</p>
④ 工程表の立案	<p>各競技会場の整備内容、特性を反映した設計・整備工程表を作成し、競技会場整備全体に関する発注単位ごとの全体工程表の立案を行う。（会場整備における他FAからの要求に対する査定期日についても盛り込む。）</p> <p>入札不調等を考慮したりカバープランについても検討、作成を行う。</p>
⑤ 支援業務の検討	<p>本業務以降の支援業務の内容、工程及び概算費用について検討する。</p>
⑥ 報告書の作成	<p>整理・調査した内容及び検討に用いた基礎資料を報告書としてとりまとめ、検討過程や収集した資料等は、その他参考資料としてとりまとめる。</p>

5 業務提案により業務を受注した場合の業務履行

受注者は、業務提案により業務を受託した場合には、提案した体制や提案内容により当該業務を履行する。

6 業務実施計画・体制

(1) 業務計画書の作成・提出

本業務の実施にあたり、業務工程や実施体制等を示す業務計画書を作成し、契約後速やかに提出すること。

(2) 連絡体制

トラブル等が発生した場合は、速やかに発注者と連絡を取れる体制を整えること。また、受注者の責任において、適切に対応するものとする。

7 成果物の提出

成果物は以下のとおりとし、提示した納期までに納品先へ提出すること。電子データについては、MS-Word 形式、MS-Excel 形式及び PDF 形式とする。図面データは、Illustrator 形式や CAD データとするなど、発注者と協議のうえ、整理すること。

(1) 成果物

報告書	A 4 版（折り込んだ A 3 の図表等を含む、カラー）	2 部
電子データ	(CD-R 又は DVD-R) 一式	2 セット

(2) 納期

2023 年 6 月 30 日（金）

ただし、(1) ④「工程表の立案」については、2022 年 12 月 28 日（水）、

(1) ⑤「支援業務の検討」については、2022 年 9 月 30 日（金）までに中間報告をすること。

(3) 納品先

名古屋市中区三の丸三丁目 2 番 1 号（愛知県東大手庁舎地下 1 階）
公益財団法人愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会

(4) 成果物の説明

受注者は、発注者の指定する監督員に対し、成果物について説明を行うこと。なお、成果物引渡後、関係機関との打合せ等において本業務に関する疑義が生じた場合は、その内容について再度説明すること。

8 打合せ等

打合せ及び記録については「建築設計業務委託共通仕様書」によることとし、必要に応じて管理技術者が立会する。打合せは「業務着手時」「中間打合せ」「成果品納入時」のほか、監督員又は管理技術者が必要と認めた時に行い、業務の進捗に関して、定期的に報告を行うものとする。

また、受注者は、発注者の求めに応じて9（3）に示した関連事業者等との打合せに同席すること。

9 その他

(1) アジアパラ競技大会

これまでアジア競技大会と同一の都市で開催されてきたアジアパラ競技大会（アジア地域の障害者総合スポーツ大会）について、現在、県・市において、アジア競技大会後の開催に向けた検討を進めているところであり、アジア競技大会の競技会場をアジアパラ競技大会においても使用する方向で検討を行っている。

今後、県・市において、アジアパラ競技大会に係る検討を進めていく予定であることから、本業務における成果物の作成にあたっては、その検討内容と整合するよう、調整を図ること。

(2) 貸与品等

発注者及び県・市が実施した業務に係る以下の資料は、本業務の実施にあたり必要となる際に発注者が貸与するものとする。

- ① 「第20回アジア競技大会競技実施可能性検討業務^{※1}」（2021年3月）
- ② 「第20回アジア競技大会モデル会場運営計画検討業務^{※2}」（2021年3月）
- ③ 発注者より提供する競技会場ブロックプラン（Ver1完成12月末予定）
- ④ 発注者より提供する競技会場ブロックプランチェックシート
- ⑤ その他、発注者と協議し、必要と認めるもの

(3) 関連事業等との協議・調整

本業務の実施にあたっては、関連する以下の事業と十分に協議・調整をしながら進めること。

- ① 競技会場基本計画等作成業務^{※3}
受注者：未定（2022年8月契約予定）
- ② 仮設オーバーレイ共通標準図作成業務^{※4}
受注者：未定（2022年8月契約予定）
- ③ エネルギー供給検討業務^{※5}
受注者：東電タウンプランニング株式会社（2022年6月契約）
- ④ その他、業務期間中に契約締結され、必要と認めるもの

(4) 受注者の制限

本業務の受注者（再委託又は下請け等の者を含む。）は、発注者が執行する競技施設整備に係る、設計や施工に関する事業者の選定に応募又は参画（代表法人、構成員、協力法人、その他事業に携わる者）することを禁止する予定である。また、上記の者と、資金関係又は人事関係において関連があると認められる者も同様とする。

(5) 仕様書に定めのない事項

当該特記仕様書に記載されていない事項は、「建築設計業務委託共通仕様書」を準用する。

(6) 管理技術者の資格要件

管理技術者の資格要件は、建築士法による一級建築士又は一般財団法人日本コンストラクション・マネジメント協会の認定コンストラクション・マネジャー（CCMJ）とする。

【注釈一覧】

※ 1	第 20 回アジア競技大会競技実施可能性検討業務	仮決定会場のうち愛知県国際展示場を例として、都市型スポーツを中心とした競技等の実施の可能性について検討（2021年3月）
※ 2	第 20 回アジア競技大会モデル会場運営計画検討業務	仮決定会場のうち刈谷市総合運動公園をモデルとして、会場レイアウト案について課題等を整理し、VIP・VVIP 対応の観点を含めて検討（2021年3月）
※ 3	競技会場基本計画等作成業務	競技会場の FOP（Field of Play）整備が必要となる「特設会場」において、運営諸室の配置や導線等を考慮した会場ブロックプラン等の作成、会場計画に係る設計及び仮設整備費等の算出を行う。（2023年3月予定）
※ 4	仮設オーバーレイ共通標準図作成業務	競技会場における共通仮設物の標準仕様を検討し、共通単価の算出及び共通標準図の作成を行う。（2022年12月予定）
※ 5	エネルギー供給検討業務	競技会場施設の調査を行い、大会時に必要な仮設電源設備を検討し、概算事業費の算出を行う。（2023年3月予定）